

## 第 60 回大阪建築コンクール入賞発表

主催／公益社団法人大阪府建築士会 後援／大阪府

### ●大阪府知事賞

内デッキのある家一つの棲家ー  
同志社京田辺会堂  
大塚グループ大阪本社大阪ビル  
千本の家

長谷川総一  
柏木由人  
若林 亮  
矢田朝士

### ●特別賞

竹中大工道具館 新館  
小幡剛也 須賀定邦  
中西正佳

### ●渡辺節賞

元斜面の家  
畑 友洋

### 趣旨

建築士はその職責を通じて地域社会の発展に寄与し、建築美を通じて建築文化の向上、ひいては地域文化の振興にも寄与していく必要があり、その責務は重大です。

大阪建築コンクールは、建築士と社会とのかかわりを通じて建築作品を評価し、その優れた実績をたたえ、建築作品の設計者である大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の設計者を表彰します。同時に行う渡辺節賞については、新しい建築文化の原動力となる若い優れた設計者をたたえ、さらなる発展を望むものです。

### 募集範囲

2011年1月1日から2015年12月31日の間に竣工し、完了検査済証の交付を受けた建築物  
\*建築確認申請不要物件は完了検査済証不要  
竣工年月日は工事完了時

### 審査経過並びに総評



審査委員長  
竹原 義二

大阪建築コンクールは1954年に創設された。今年は60回目を迎えコンクールの節目（還暦）となった。これまでの受賞作品と受賞者・審査員のリストに目を通すと日本の建築の歴史を見るようである。審査委員長には村野藤吾・滝沢真弓・浦辺鎮太郎・・・などの名前が続いていく。関西の建築文化を築いて来たコンクールであることに身

### ●大阪府知事賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない  
建築位置：近畿二府四県  
応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者

### ●渡辺節賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない  
建築位置：近畿二府四県  
応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者  
完了検査済証発行日現在39歳以下

### 審査委員会

委員長 竹原義二  
(無有建築工房、摂南大学理工学部建築学科教授)  
委員 越智正一  
(大阪府住宅まちづくり部公共建築室室長)  
梶橋 修  
(神戸大学大学院工学研究科工学部准教授)  
陶器浩一  
(滋賀県立大学環境科学部環境建築デザイン学科教授)  
橋寺知子  
(関西大学環境都市工学部建築学科准教授)

が引き締まった。審査とは審査員が審査されていることになるのを痛感した。前回からは1年おきに開催されることになったため大規模な作品が多数を占め、小規模な作品との違いをどのように評価すべきかの議論があり、評価の基準を整理することから始まった。

今回の応募作品数は知事賞部門43作品と渡辺節賞部門14作品である。

審査は全作品をパワーポイントで見終わったあと、図面と写真による審査を審査員独自の審査方法で行った。現地審査の対象となる作品を選んだ結果、満票はなく票が分かれた。1票を投じた委員から評価する理由を聞きながら、推薦する理由は何か、また推薦しない理由は何かを議論し、最終段階まで絞り込んでいった。意見が出つくれた時

### 審査

審査委員会3回

#### ●第1次審査

2月19日 書類・図面、写真によって、大阪府知事賞部門9点、渡辺節賞部門4点を選考

#### ●第2次審査

3月4日、7日 第1次審査通過作品について現地審査を2日間実施

#### ●最終審査

3月7日 第2次審査終了後に実施  
大阪府知事賞4点、特別賞1点、渡辺節賞1点を選出

### 表彰式・受賞者講演会

#### ●表彰式

とき 平成28年5月25日(水)  
本会定時総会式典席上

会場 ホテル大阪ペイタワー・4階

点で再度話し合った結果、できるだけ多くの作品を現地審査することを確認し、1票の作品も現地審査の対象として残した。特に住宅部門の作品は評価の基準が各委員で違ったため、現地審査の数を多くし、写真では見えない生活の仕方も考慮することが確認された。

審査員の構成が今回から5人になり、それぞれの建築の捉え方の違いが表出し、議論が多岐に渡った。

また今回から審査の透明性を出すために設計者の氏名を伏せて審査にあたったことを記しておく。

現地審査に残された作品は非住宅部門6作品、住宅部門3作品、渡辺節賞部門4作品を現地審査対象作品とすることにした。3月4日と7日の2日間でも現地審査を行った。そのあと、大阪府

建築士会の事務局で最終審査を行った。

まず審査をするにあたって、「竹中大工道具館新館」の建築は特別な建築ではないかという意見が持ち上がった。この建築は、建築技術・数寄屋伝統建築の保存・作庭技術・展示されている唐招提寺の木組みなど、可能な限りの表現がバランスよく実現しているなど、特別な枠組みのなかで完成しているということを議論した結果、特別賞として別枠で賞を授与することにした。

「大塚グループ大阪本社大阪ビル」は街のランドマーク的な役割を持ち、間口が狭く、奥に長い敷地をうまく活用し、魅力的なオフィス空間を実現した建築である。構造体のH型鋼を3角形で組み合わせ、カーテンウォールと一体化させた「スキストラクチュア」が建物を包み込んでいる点は従来のカーテンウォールの味気なさをなくし、強い個性を持って建築が街に表現されている。さらにディティールの完成度や室内の配色も魅力的で力強い作品として評価された。

「同志社京田辺会堂」は大学のキャンパスのなかに建つ礼拝堂と新島襄関連資料室である。大学正門から伸びる軸線上の通路と広場に向かってくる構内通路を挟んで正対するように建っている。この2つの建物を結んでいるのは水盤である。両棟に配置された建物はこの水盤に映り込みお互いの距離をは

かるかのようにして無機質な空間に光と影を与えている。

長手方向の壁には開口部を設けず、短手方向は硝子が天井まで立ち上げられ、内側から外側へと視線が動く。そして、リズムを持つ列柱が2つの建物をつないでいる。空間を表現しているレンガのテクスチュアと色合いが大学キャンパスのなかでも特異な色合いを醸し出している。小さな建築ではあるが既存のキャンパスのなかにうまく調和している点が評価された。

最後まで議論された「市立吹田サッカースタジアム」は、建築が募金によって実現した新しいタイプの公共建築として評価された。が、サッカー場としての外部の扱い方にもう少しの配慮と工夫があれば競技場に訪れた時のアプローチの雰囲気や、試合後の抑揚感をもっと高まるのではないかという意見が出、票が分かれ入賞を逃す結果となった。

住宅部門では「千本の家」は写真では理解できなかった空間の配列が現地で確認できた。細長い敷地を生かした平面と断面の計画は、外部と内部を巧みに使い分け空間の深度を高めている。狭小敷地での新しい住まい方の提案が随所に見られ、木造の可能性を得た。クライアントの住まい方は見事であった。

「内デッキのある家一つの棲家」は、

以前に設計した建主が裏の土地を購入し、2つの建物が連続するように考えた終の棲家である。生け垣に囲まれ、納まりのよい瓦屋根が周辺環境を整えているように建っていた。軒が低くおさえられた木造平屋建てで、2つの建物を南北の内デッキで視覚的につなぎ、母屋へと視線が抜けていく。とても居心地のよい空間は、審査でなければ長く滞在したくなるような住宅であった。特にスケール感や素材の使い方、外と内の関係などは住み手の意を汲んだきめ細やかな設計が高く評価された。

最後に新人賞である渡辺節賞は斜面地を生かした「元斜面の家」がすんなりと決まった。ただし、現地を訪れるまでは、この斜面地をどのように生かして建築しているのかという疑問はあった。が、現地審査で訪ねたとき、子どもたちの楽しそうな生活ぶりや、階段を巧みに使いこなしている姿を見て、建築と環境と生活が一体となった魅力的な空間を見ることができた。そして、荒削りな空間が立体的に配置されている構成に力強さが見て取れた。困難な場を読解し、建築に昇華する力量を高く評価した。

質の高い作品が多く、審査は多岐にわたったが、現地審査の重要性を感じとった審査であった。

### 大阪府知事賞 内デッキのある家一つの棲家ー

設計者 長谷川総一(長谷川設計事務所)



建築位置／藤井寺市  
建物用途／戸建住宅  
建築主／山内 淳  
施工者／株式会社市川工務店  
竣工年月／2015年5月  
構造／W造  
階数／1階  
敷地面積／320.23㎡  
建築面積／99.90㎡  
延床面積／86.24㎡

撮影 市川かおり

〈審査講評〉生垣越しに見える長く美しい軒が、さりげなく端正な姿をアピールしている。隣に建つ二世帯住宅から独立させた高齢のご夫婦のための住まいである。南北の外部デッキとこれをつなぐ幅2.7mの内デッキが、旧住宅との連絡、車椅子でのアプローチ、庭いじりや訪れる人とのコミュニケーションを可能にしている。隣居、バリアフリー、生きがい等、高齢者の住まいをめぐる多様な課題に対し、調和した解答を鮮やかに示した住宅である。 (審査委員 越智正一)



長谷川総一  
1956年生まれ  
1979年3月 京都工芸繊維  
大学工学部住環境学科卒業  
1979年4月 マツダ店舗設計研究所  
入所  
1981年10月 レンゴオ設計事務所  
入所

1985年4月 株式会社アトリエフルタ建築研究所入所  
1992年8月 長谷川設計事務所開設 現在に至る  
[主な受賞歴]  
1992年 21世紀KOBЕの住まいコンクール優秀作品賞  
2007年 第10回日本木青連木材活用コンクール木材青年連合会会長賞  
2011年 平成23年度日事連建築賞奨励賞  
2011年 大阪ガス住宅設計アワード2011最優秀賞  
2014年 第二回吉田桂二賞入賞

## 大阪府知事賞 同志社京田辺会堂

設計者 柏木由人 (ファセット・スタジオ・ジャパン一級建築士事務所)



建築位置／京田辺市  
建物用途／大学  
建築主／学校法人 同志社  
施工者／吉村建設工業株式会社  
竣工年月／2015年3月  
構造／RC造、一部S造  
階数／2階  
敷地面積／562,687.47㎡  
建築面積／1,207.66㎡  
延床面積／1,194.24㎡

撮影 阿野太一

〈審査講評〉キャンパス内の通路を挟んで両側に水盤とそれを覆う大きなコの字型の庇空間が対称的に配置され、一方がガラス張りの礼拝堂、他方が同志社大学の創始者である新島襄の足跡に関わる資料展示室が配置されている。オフィスや会議室などの諸室はそれぞれの背後にコンパクトにまとめられ、矩形のボリュームが整然と並ぶキャンパスの景観の中に施設の建設理念が明快かつ端正に表現されていることが評価された。

(審査委員 槻橋 修)



柏木由人  
1973年生まれ  
1997年 慶應義塾大学工学部卒業  
1999年 慶應義塾大学大学院政策メディア研究科建築・都市デザイン専攻修了  
1999年-2000年 Renzo Piano Building Workshop  
2000年-2007年 Engelen Moore

2008年-Facet Studio設立  
2008年-ファセット・スタジオ・ジャパン一級建築士事務所設立  
2002年-2007年 シドニー大学非常勤講師  
2010年- ニューサウス・ウェルズ大学非常勤講師  
[主な建築作品と受賞歴]  
2015年 Taipei International Design Award (台湾)/Public Space Design部門大賞/2013年 同志社大学京田辺キャンパス礼拝堂および関連施設設計提案競技最優秀作品賞/2012年 Interior Design Excellence Awards(オーストラリア) 新人賞・Interior Design Excellence Awards(オーストラリア) International Project部門大賞/2012年 Interior Design Excellence Awards(オーストラリア) Retail Design部門大賞

## 特別賞 竹中大道具館 新館

設計者 小幡剛也 須賀定邦 ※中西正佳 (株式会社竹中工務店) ※2015年竹中工務店設計部退社、現在 中西正佳建築設計事務所



〈審査講評〉緑の中に埋め込まれた建築は六甲山の山並みと一体となり自然体として街並みに佇んでいる。大きなむくりのある瓦屋根が樹木の隙間から見え隠れし、建築の大半が地下に埋め込まれているので重厚には見えないなど環境への配慮や建築空間と一体となった展示空間は見応えがある。また各所に見られる新しい技術と伝統的な技術はすぐれた職人の技で建築の本質が表現されている等、この建築はものづくりの心が見えてくる正統な建築である。(審査委員長 竹原義二)

建築位置／神戸市  
建物用途／博物館  
建築主／公益財団法人 竹中大道具館  
施工者／株式会社竹中工務店  
竣工年月／2014年4月  
構造／S造・RC造  
階数／地上1階、地下2階  
敷地面積／2,744.30㎡  
建築面積／538.97㎡  
延床面積／1,884.05㎡

撮影 古川泰造



小幡剛也(左)  
1969年生まれ/1991年3月 京都大学工学部建築学科卒業  
1993年3月 京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了/1993年4月 株式会社竹中工務店設計部入社/2011年4月 同設計部設計第3部門設計グループ長/2016年4月 同設計部設計第3部長/現在に至る  
[主な建築作品と受賞歴]2011年 堀野義製薬医薬研究センター(SPRC4):大阪建築コンクール大阪府知事賞、大阪まちなみ賞知事賞 他/2014年 竹中大道具館新館:第25回AACAA賞、第1回ウッドデザイン賞奨励賞、第42回日本建築士会連合会賞特別賞 他 須賀定邦(中央)  
1972年生まれ/1995年 東京大学工学部都市工学科卒業/1998年 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了/1998年4月 株式会社竹中工務店設計部入社/2013年4月 同設計部設計第3部門副部長/2016年4月 同設計部設計第3部門設計グループ長/現在に至る  
[主な建築作品と受賞歴]2005年 スロングビルディング:第50回BCS賞、第1回鈴木禎次賞 大賞、第35回建築士会連合会賞優秀賞 他/2008年 福寿園京都本店:作品選集2012、京都デザインアワード2010入選 他/2014年 竹中大道具館新館(同上)  
中西正佳(右)  
1981年生まれ/2005年 京都大学工学部建築学科卒業/2007年 京都大学大学院工学研究科建築学専攻修了/2007年 竹中工務店入社/2016年 中西正佳建築設計事務所開設/2016年 近畿大学非常勤講師  
[主な建築作品と受賞歴]神戸国際中学校、高等学校 河野記念アルモニホール:2012年 第11回芦原義信賞 他/2014年 竹中大道具館新館(同上)

## 大阪府知事賞 大塚グループ大阪本社 大阪ビル

設計者 若林 亮 (株式会社日建設計)

建築位置／大阪市 構造／S造、SRC造  
建物用途／事務所・保育所 階数／地下1階、地上11階、塔屋1階  
建築主／大塚製薬株式会社  
施工者／株式会社竹中工務店  
竣工年月／2014年2月 敷地面積／2,432.32㎡  
建築面積／861.10㎡  
延床面積／7,254.71㎡

撮影 テクニ・スタッフ・岡本公二

〈審査講評〉大阪市内のメインストリート、松屋町筋に面して建つオフィスビルである。縦長斜め格子ユニットのスレンダーな建物は、程よい佇まいで街並みに豊かな表情を与えている。このユニットで囲まれたオフィススペースは適度な距離感を持って外部と接し、コーナーに設けた小さな吹き抜け空間が心地よい安らぎを与えている。特に目新しいことはしていないが、細部に至るまできめ細やかに考えられた質の良いオフィス建築である。

(審査委員 陶器浩一)



若林 亮  
1961年生まれ  
1983年 豊橋技術科学大学建設工学課程卒業  
1985年3月 豊橋技術科学大学大学院建設工学系修士課程修了  
1985年4月 株式会社日建設計入社  
1998年4月 同社設計室設計主管

2001年4月 同社設計室長  
2006年1月 同社設計部門副代表兼設計室長  
2015年1月 設計部門代表  
[主な建築作品と受賞歴]  
掛川市庁舎/1997年 建築業協会賞、日本建築学会作品選奨、2000年公共建築賞 他  
瀬戸市立品野台小学校/2001年 日本建築学会作品選集、建築と社会賞、2005年JIA環境建築賞入選、公共建築賞 他  
トヨタインスティテュート/2005年 サステナブル建築・住宅賞国土交通大臣賞 他  
高山市立南小学校/2005年 日車連建築賞優秀賞 2010年 モード学園スパイラルタワーズ/2009年 日本建築家協会優秀建築選、日本建築学会作品選集、2008年 愛知まちなみ建築賞(大賞)

## 渡辺節賞 元斜面の家

設計者 畑 友洋 (畑 友洋建築設計事務所)



〈審査講評〉神戸に典型的な急斜面を造成した住宅街に建つ住宅であり、急斜面に半分埋まりながら山側バルコニーと海側の庭まで、傾斜を活かした立体的な空間構成をもつ。夫婦+子供5人の7人家族に求められるプライベートな機能をコンパクトにまとめつつ、かつて造成以前にこの地にあった斜面をたどる様な斜めの大屋根が、大家族の一体感と距離感を見事にバランスさせている。構築的でありながら家族の巢の様な空間が評価された。

(審査委員 槻橋 修)

建築位置／神戸市  
建物用途／戸建住宅  
建築主／毛利宗玄  
施工者／株式会社コハツ  
竣工年月／2015年7月  
構造／W造  
階数／2階  
敷地面積／176.54㎡  
建築面積／93.51㎡  
延床面積／123.93㎡

撮影 矢野紀行



畑 友洋  
1978年生まれ  
2001年3月 京都大学工学部建築学科卒業  
2003年3月 京都大学大学院工学研究科修了  
2003年4月 高松伸建築設計事務所に入社  
2005年3月 畑友洋建築設計事務所開設 現在に至る  
京都大学、近畿大学、神戸芸術工科大学、摂南大学非常勤講師  
[主な建築作品と受賞歴]  
Belly House(JIA第6回関西建築家新人賞、第3回京都建築賞優秀賞)  
Complex House(WAN House of the Year 2011受賞)  
Stone Terrace(BOKA ARTIST RESIDENCE COMPETITION first prize)  
Forest Shadow(六甲ミーツ・アート2011奨励賞)  
Hut of Glass(長浜ア・パングラスコンペティション2011グランプリ) 他

## 大阪府知事賞 千本の家

設計者 矢田朝士 (ATELIER-ASH)

建築位置／京都市  
建物用途／戸建住宅  
施工者／株式会社ムカイ工務店  
竣工年月／2015年10月  
構造／W造  
階数／2階  
敷地面積／77.44㎡  
建築面積／46.46㎡  
延床面積／71.39㎡

撮影 絹巻 豊

〈審査講評〉京都西陣の古い建物も多く残る地域に建つ。伝統的なモチーフの引用はないが、材料の扱いやディテールの繊細さ、色合い、風合い、適度に連続性のあるプランは、現代の町家として周辺になじんでいる。余分なものをもたない、見せない、住み手の思いが反映された超シンプルな空間では、開口部で切り取られた外の風景が、とても鮮やかなものとして目に飛び込んでくる。

(審査委員 橋寺知子)



矢田朝士  
1967年生まれ  
1992年 神戸大学工学部環境計画学科卒業  
1992~1997年 無有建築工房  
1998年 ATELIER-ASH 開設  
現在に至る  
2007年~ 関西大学非常勤講師

2010年~ 大阪府立大学非常勤講師  
2015年~ 京都工芸繊維大学非常勤講師  
[主な建築作品と受賞歴]  
2005年 ES house-01 / IBECサステナブル住宅賞優秀賞、JIA新人賞、日本建築士会連合会優秀賞、奈良県景観調和デザイン奨励賞、JIA近畿支部関西建築家大賞  
2007年 帷子の家/住まいのインテリアコーディネーションコンテスト経済産業大臣賞  
2009年 ES house-02 / 日本建築士会連合会奨励賞、JIA近畿支部関西建築家大賞  
2013年 日本建築学会近畿支部コンクリートと木のコラボレーションによる持続可能な住まいと地域住環境の設計最優秀賞、同二村賞  
2014年 Domus Ishigaki / 日本建築学会九州支部建築九州賞九州建築選2015

## 審査風景



## 大阪建築コンクール基金出捐者リスト

株式会社IAO 竹田設計	岸下和代	濱田 徹
あけぼの住研有限会社	岸下秀一	株式会社原田彰建築設計事務所
ATELIER-ASH	岸下真理	株式会社ピアレックス・テクノロジーズ
株式会社アトリエ天藤	木原千利設計工房	藤田 忍
生山雅英	越井木材工業株式会社	水谷 敢
今井俊夫	榊原節子	株式会社三菱地所設計
株式会社インターオフィス	修成建設専門学校	森村政悦
上田茂久	須部恭浩	山城健児
岡崎 雅	田中義久	横田友行
岡本森廣	辻井光憲	芳村隆史
織部製陶株式会社	株式会社徳岡設計	米井 寛
有限会社家倶家	中島 薫	株式会社ライト・ストリート総合計画
岸下愛子	株式会社ノザワ関西支店	(50音順 敬称略)

大変ありがとうございました。  
本コンクールの募集・審査・表彰・講演会等の運営資金に充てさせていただきます。  
(公益社団法人大阪府建築士会建築表彰委員会)